



富山大学学報

昭和31. 12. 1

第 9 号

目 次

関係法令	政令, 省令, 規則, 告示, 国家試験府令.....	1
人 事 通 達	人事異動.....	2
	学校身体検査における結核の健康診断の事後指導について.....	3
学内通知	学生募集要綱.....	3
	昭和34年度以降の入学者選抜学力検査について.....	4
	卒業修了等について.....	4
	転学部, 転学科等について.....	4
	昭和31年度卒業式終了式について.....	5
	大学設置基準の制定.....	5
部局情報	富山大学経営学専門講座開設.....	5
	昭和32年3月卒業予定学生就職状況.....	5
	永年勤続者表彰.....	6
	学位取得.....	6
	叙 勲.....	6
	富山大学, 高等学校連絡協議会.....	6
	北陸三県大学学生交歓芸術祭.....	6
	学部対抗学生競技大会.....	6
	図 書 寄 附.....	6
	部局秋期レクリエーション便り.....	7
雑 報	ヘルン文庫概要.....	7
職員消息	死亡, 改姓, 住所変更.....	8
日 誌	主要日誌.....	8

関 係 法 令

政 令

政令第293号	文部省組織令の一部を改正する政令	31. 9.18官報
政令第314号	教科用図書検定調査審議会令の一部を改正する政令	31.10.19官報
政令第315号	国家公務員に対する寒冷地手当及び石炭手当の支給に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を定める政令	31.10.22官報
政令第336号	国の債権の管理等に関する法律の施行期日を定める政令	
政令第337号	国の債権の管理等に関する法律施行令	
政令第338号	物品管理法の施行期日を定める政令	
政令第339号	物品管理法施行令	31.11.10官報

省 令

文部省令第23号	学校教育法施行規則の一部を改正する省令	31. 9.27官報
文部省令第24号	学校教員調査規則等の一部を改正する等の省令	31. 9.29官報
文部省厚生省令第2号	保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部を改正する省令	31.10. 6官報
文部省令第26号	文部省設置法施行規則の一部を改正する省令	
文部省令第27号	教科用図書検定規則の一部を改正する省令	31.10.10官報
文部省令第28号	大学設置基準の制定	31.10.23官報

規 則

人事院 1-4	現行の法律, 命令及び規則の廃止の一部を改正する件	
人事院14-5	公選による公職の一部を改正する件	31. 9.10官報
人事院 2-3	人事院事務総局の組織の一部を改正する規則	31.10. 1官報
人事院 9-21	俸給の支給定日の特例	31.11.24官報
人事院16-0	職員の災害補償の一部を改正する規則	31.11.26官報

告 示

文部省告示第80号	教科用図書検定基準の一部を改正する件	31. 9. 3官報
日本学術会議告示第3号	日本学術会議会員選挙の期日の件	31. 9.10官報
文部省告示第82号	昭和33年度使用文部省検定済教科書の定価の認定に関する件	31. 9.20官報
日本学術会議告示第4号	日本学術会議会員が退職したので次点者をもつて補充した件	31.10. 5官報
日本学術会議告示第5号	日本学術会議会員選挙につき会員候補者の氏名を告示する件	31.10. 9官報

国家試験

昭和31年度初級国家公務員採用資格試験公告	31. 8.15官報
昭和31年度単位修得試験実施要綱(文部省告示第69号)	31. 8.11官報
昭和31年度5級職国家公務員採用試験公告	31. 9.20官報
昭和31年度単位修得試験実施要綱の一部改正	31. 9.21官報

府 令

総理府令第80号	国家公務員に対する寒冷地手当及び石炭手当支給規程の一部を改正する総理府令	31.10.27官報
----------	--------------------------------------	------------

公 告

日本学術会議第4期会員選挙基準の制定	31.10.23官報
--------------------	------------

人事異動

官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
文 部 教 官 (京都大学講師 理学部)	根 来 健 一 郎	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年9月30日までとする	昭和31. 8. 1
文 部 教 官 (富山大学助教授 文理学部)	梅 原 隆 章	療養より復帰させる	昭和31. 9. 1
文 部 教 官 (新潟大学教授 理学部)	田 代 芳 郎	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (新潟大学教授 理学部)	田 代 芳 郎	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和31年12月31日までとする	〃
備人(文理学部警務員)	宮 武 栄 吉	療養の期間を昭和31年12月4日まで更新する	昭和31. 9. 5
雇 (会計課)	松 浦 敦 子	辞職を承認する	〃
雇 (文理学部)	川 原 越 雄	国家公務員法第79条第1号の規定により休職にする 休職の期間は昭和32年3月8日までとする	昭和31. 9. 9
雇 (附属図書館工学部分館)	中 屋 幸 子	辞職を承認する	昭和31. 9.10
	尾 守 俱 子	臨時筆生(附属図書館工学部分館)に採用する 任期は昭和32年3月11日までとする	昭和31. 9.12
臨時筆生(附属図書館)	松 下 甚 清	備人(附属図書館警務員)に配置換する	昭和31. 9.16
臨時筆生(文理学部)	藏 北 博	備人(文理学部警務員)に配置換する	〃
雇 (厚生課)	永 代 邦 子	会計課に配置換する	昭和31. 9.20
文 部 教 官 (富山大学助手 経済学部)	柴 田 篤 藏	辞職を承認する	昭和31. 9.30
非常勤講師 (富山大学 文理学部)	小 柴 值 一	辞職を承認する	〃
	中 村 一 彦	文部教官(富山大学助手経済学部)に採用する	昭和31.10. 1
文 部 教 官 (京都大学教授 理学部)	田 中 憲 三	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年11月30日までとする	〃
運 輸 技 官 (伏木測候所長)	田 口 龍 雄	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和32年1月31日までとする	〃
	倉 石 五 郎	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 技 官 (施設課企画係長)	瀬 川 義 広	施設課長補佐に昇任させる	〃
文 部 技 官 (施設課長補佐)	瀬 川 義 広	施設課企画係長に併任する	〃
備人(教育学部)	高 安 梅 太 郎	休職の期間を昭和32年9月30日まで更新する	〃
雇 (会計課)	藤 田 信 二	文部事務官に任官させる	〃
雇 (施設課)	沖 健 松	文部技官に任官させる	〃
文 部 教 官 (東京大学助教授 教養学部)	野 島 正 城	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年12月31日までとする	〃
文 部 教 官 (大阪大学助教授 理学部)	谷 久 也	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (名古屋大学助教授 文学部)	伊 藤 武 雄	〃	〃
	福 田 武	講師(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31.10. 7
文 部 教 官 (富山大学助教授 経済学部)	植 村 元 覚	富山大学助教授(教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31.10. 8
	若 林 繁	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
	中 性 哲	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31.10. 9
	森 田 弘	〃	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 文理学部)	須 沼 吉 太 郎	富山大学助教授(教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31.10.15
	武 者 宗 一 郎	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃

文部教官 (金沢大学教授 工学部)	広津万里	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和31年12月27日までとする	昭和31.10.15
文部教官 (金沢大学教授 工学部)	千葉喜美	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和32年3月15日までとする	〃
	塚原鶴夫	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和31年12月27日までとする	〃
	浦田ゆりの	文部教官(教育学部附属中学校教諭)に採用する	昭和31.10.16
	池辺展生	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
非常勤講師 (富山大学 薬学部)	米村長敏	医員(富山大学学生部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31.11.1
	牧島玄一郎	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	昭和31.11.20
	押田秀雄	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年12月30日までとする	〃

通 達

文初保第471号
昭和31年10月19日

各国公私立大学長殿

文部省初等中等教育局長 緒方 信一
文部省大学学術局長 稲田 清助

学校身体検査における結核の健康
診断の事後指導について(通達)

学校教育法第12条の規定による学校身体検査における結核の健康診断の結果は、従来「健康」、「要注意」、「要休業」、「要療養」という分類によつて指導することにしてきたが、今後は、別紙の指導区分によつて指導されるようお願いいたします。

なお、このことを貴管下の教育委員会および各学校に対し周知徹底させるようにお願いします。

別紙指導区分

1. 生活規正の面からの区分

生活規正の面からは、次のA、B、C、Dの4段階に区分する。

記号	内 容
A(要休業)	勤務あるいは学業を休む必要のあるもの
B(要軽業)	勤務あるいは学業を制限を加える必要のあるもの
C(要注意)	勤務あるいは学業をほぼ平常に行つてよいもの
D(健康)	全く正常の生活でよいもの

2. 医療の面からの区分

医療の面からは、次の1、2、3の3段階に区分する。

記号	内 容
1(要医療)	医師による直接の医療行為(化学療法・外科手術など)を必要とするもの

2(要観察)	医師による直接の医療行為を必要としないが、定期的に医師の観察指導を受ける必要があるもの。
3(健康)	医師による直接あるいは間接の医療行為を全く必要としないもの

3. 以上二つの区分を組み合わせてA1, A2, B1, B2, C2, D3のように指導区分を示すこと。

これを例示すれば、次のようである。

- A1 (要休業・要医療)
- A2 (要休業・要観察)
- B1 (要軽業・要医療)
- B2 (要軽業・要観察)
- C2 (要注意・要観察)
- D3 (健康)

学 内 通 知

学 生 募 集 要 項

昭和32年度の本学の学生募集要項の概要は次の通りである。

1. 募集人員

文理学部	文 学 科	50名
	理 学 科	50名
教育学部	第1中等教育科(4年制)	約75名
	(国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 図画工作)	
	保健体育, 家庭, 職業, 英語専攻各若干名)	
	第1初等教育科(4年制)	約70名
	第2初等教育科(2年制)	約40名
経済学部	経 済 学 科	160名
薬学部	薬 学 科	80名
工学部	電気工学科	30名
	工業化学科	30名
	金属工学科	30名
	機械工学科	30名

第2初等教育科は昨年度の60名減である。

2. 出願期限

昭和32年2月16日(土)から3月2日(土)まで

3. 学力検査科目

国語，社会，数学，理科，外国語の5教科につき各教科1科目ずつの受験とする。

文化系，理科系の別を廃し4科目受験を5科目受験に改めた。数学科は一般数学を除いた3科目のうちから1科目選択と改めた。

社会科，理科の代替科目に関して一部変更を加えた。これらは昨年度と相違している点であるが詳細は本春発表済である。

4. 身体検査

出願手続の際，本学所定の用紙により，国公立病院，大学付属病院，赤十字病院又は保健所の医師の診断証明した身体検査証明書を提出させ，これを審査し，検査を必要と認める者を指定する。

指定者については，学力検査終了後身体検査を行う。従来は受験者全員に対し直接身体検査を行ったのであるが本年度から以上のように改めた。

5. 検査日割

3月23日（土） 数学，国語，社会

3月24日（日） 外国語，理科

なお午後1時から身体検査。（本学が指定した者のみ）実技検査（音楽，図画工作，保健体育を受験科目として選択した者のみ）を行う。

6. 検査場所

出願学部	検査場
文理学部	文理学部
教育学部	教育学部
経済学部	富山工業高等学校（富山市五福）
薬学部	奥田中学校（富山市窪町）…学力検査 薬学部……………身体検査
工学部	工学部

7. 第二志望

教育学部または工学部の志願者は，各学部内において第二志望ができる。

8. 合格発表

昭和32年3月31日（日）

9. 入学願書提出先

富山大学本部学生部補導課（富山市奥田）

昭和34年度以降の入学者選抜学力検査について

高等学校教育課程の改訂は昭和31年度の第1学年から学年進行をもって実施されているので，改訂教育課程による最初の卒業生が，受験することになる昭和34年度以降の入学者選抜のための学力検査は，本学においては次により実施することになった。

昭和34年度以降入学者選抜方法のうち学力検査実施教科について

次の5教科について実施する。

- 国語科 国語（甲）とする。
- 社会科 社会，日本史，世界史，人文地理のうちから1科目を選択させる。
- 数学科 数学Ⅰのほか数学Ⅱまたは数学Ⅲのうちいずれか1科目を選択させる。ただし，数学Ⅲは3単位を履修した程度で出題する。
- 理科 物理，化学，生物，地学のうちから1科目を選択させる。
- 外国語科 英語，ドイツ語のうち1カ国語を選択させる。

備考 昭和34年度及び昭和35年度の学力検査については昭和33年度以前の卒業生に対し旧高等学校教育課程によつて受験できるよう暫定措置を講ずる。これが細部についてはその都度前もつて示す。

卒業修了等について

昭和31年9月30日付をもつて次のとおり卒業，修了を認定し，卒業証書，修了証書を授与された。

1. 卒業生

教育学部	第一中等教育科	1名
〃	第一初等教育科	5名
経済学部	経済学科	2名
薬学部	薬学科	1名
	計	9名

2. 修了者

教育学部	第二中等教育科	1名
〃	第二初等教育科	2名
	計	3名
	合計	12名
	総計	21名

転学部，轉学科等について

昭和31年9月30日付をもつて，次のとおり転学部，轉学科，専攻異動が許可された。

1. 転学部

転入学部学科	在籍学部学科	人員
経済学部経済学科	文理学部文学科	1名
工学部金属工学科	文理学部理学科	2名
〃 機械工学部	〃 〃（乙）	1名
	合計	4名

2. 轉学科

転入学科	在籍学科	人員
（文理学部）文学科	理学科	1名
〃	〃（乙）	1名
理学科（甲）	〃（〃）	1名

(教育学部)		
第一中等教育科	第1中等教育科	2名
(工学部)電気工学科		
	工業化学科	1名
〃	金属工学科	1名
〃	機械工学科	2名
合 計		9名

3. 専攻異動

教育学部第一中等教育科		
転入専攻	在籍専攻	人員
音 楽	家 政	1名
合 計		1名
総 計		14名

昭和31年度卒業式終了式 日程
昭和32年度入学式

標記について、次のように行事日程が決定された。

昭和31年度卒業式, 修了式	昭和32年3月20日(水)
昭和32年度入学式	昭和32年4月10日(水)

大学設置基準の制定

すでに懸案であった、大学設置基準は、文部省令第28号(10月22日官報第8948号)をもつて公布施行を見たが、この基準に関連し、本学諸規程について、目下全般的な検討がなされている。

部 局 情 報

富山大学経営学専門講座開設

文部省委嘱、富山大学経営学専門講座が富山大学経済学部主催、富山県教育委員会、富山市教育委員会、富山県経営者協会、富山商工会議所、北日本新聞社、北陸夕刊、富山新聞社、NHK富山放送局、北日本放送局後援のもとに、10月8日より11月末日まで富山市舟橋南町、富山県経営者協会において開設された。

本講座は文部省の委嘱により国立大学の学校開設講座として、大学設置地域の一般成人に経営学の専門知識を習得させ、地方文化の進展に寄与することを目的とするものである。諸講座科目及講師は次の通りである。

- 資本主義経済の動向と経営者の性格 経済学部教授 花井 益一
- 近代企業の経営原理 同 野崎 富作
- 公益企業の経営 同 助教授 田中 文信
- 労働法の諸問題 同 助教授 池田 直視
- 企業会計原則について 同 講 師 友杉 芳春
- 資産会計の諸問題 同 講 師 山崎 佳夫
- 原価計算の問題点 教育学部講師 佐藤 好孝

なお受講者は北陸電力株式会社を初め富山地方の民間諸会社の社長、部課長、係員など、定員100名を突破し、118

昭和32年3月卒業予定学生就職状況 (11月20日現在)

学 部	学 科	卒業予定者	上級進学者 家事従事者	就職希望者	就職決定者	就 職 率
文 理 学 部	文 学 科	34	2	32	3	
	理 学 科	18	1	17	3	
	計	52	3	49	6	1.2
教 育 学 部	第一中等教育科	56	—	56	—	
	第一初等教育科	45	—	45	—	
	第二中等教育科	20	2	18	—	
	第二初等教育科	77	13	64	—	
	計	198	15	183	—	
経 済 学 部	経 済 学 科	133	3	130	56	43.0
薬 学 部	薬 学 科	74	13	61	35	57.4
工 学 部	電 気 工 学 科	31	1	30	19	
	工 業 化 学 科	25	—	25	16	
	金属工学科 金機	16 14	1 —	15 14	6 9	
	計	86	2	84	50	59.5
合 計		543	36	507	147	29.0 (45.4)

括弧内数字は教育学部を除く就職率を示す

名の多きに達したが、受講者は熱意をもつて極めて熱心に聴講し盛況のうちに11月26日、94名に対し修了証書を授与し、修了式は滞りなく終了した。

永年勤続職員に感謝状贈呈

第6回勤続職員感謝状贈呈式は、本学と大学後援会の共催のもとに、11月14日午前11時より、本部において、吉田富山県知事ほか来賓多数参列のもとに挙行された。まづ教授結城謙治氏ほか5氏に対し、学長から感謝状並に記念品が贈呈され、学長の式辞、富山大学後援会長吉田知事の祝辞について被表彰者を代表して結城氏の謝辞があつて式を閉じた。

永年勤続者 文理学部教授 結城 謙治
 “ 助教授 岡崎 初雄
 教育学部助教授 立島 謙
 “ “ 神保 放牛
 “ “ 山口 政則
 工学部事務長 柳瀬 茂光

薬学部教官の学位取得

薬物学講座担当の北川晴雄助教授は東京大学医学部へ論文(クマリン誘導体の薬品的研究)提出中のところ、昭和31年9月12日付薬学博士の学位を授与された。

故青山ヒサエ氏に叙勲

元教育学部附属幼稚園教諭青山ヒサエ氏に対し、9月3日付死去の日をもつて、生前における教育事業への功績により勲七等瑞宝章が授与された。

富山大学高等学校連絡協議会

昭和31年度富山大学高等学校連絡協議会(第7回)は12月7日(金)午前10時から教育学部において開催されるが、昭和32年度学生募集、昭和34年度以降入学者選抜方法のうち学力検査実施教科等を中心に高等学校の進学指導の問題その他について、関係者によつて協議懇談される。

北陸三県大学学生交歓芸術祭

第6回北陸三県大学学生交歓芸術祭は、福井大学主管のもとに、11月23日から主管地において華々しく開催された。

- 文 学 作品コンクール
- 展覧会

絵画 繊維ビル(第一会場)
 福井人絹会館(第二会場) 23~25日
 工芸 { 全 上 23~25日
 彫刻 }
 書道 福井人絹会館 23~25日
 写真 福井県婦人青年会館 23~25日

- 洋 楽 福井市公会堂 23日
- 演 劇 全 上 24日
- 邦 楽 全 上 25日
- 放送劇 N・H・K(第二)三県同時放送
 金沢大学 “ともがき” 12月1日後7.30
 富山大学 “ダ ム” 12月8日後7.30
 福井大学 “から廻り” 11月24日後7.30

学部對抗学生競技大会

第5回学部對抗学生競技大会は、10月27日、28日の両日にわたつて開催されたが、各競技得点は下表の通りであつた。

得 点 表 (男)

	文理	教育	経済	薬	工
陸上競技	1	5	3	1	1
庭 球	1	1	1	4	4
野 球	0	1	1	5	3
排 球	0	3	5	1	1
籠 球	1	3	1	5	1
バドミントン	0	5	3	0	0
卓 球	3	5	1	1	1
柔 道	1	5	3	1	1
剣 道	0	5	1	1	3
計	7	33	19	19	15

得 点 表 (女)

	文理, 経済	薬学	教育1,3年	教育2,4年
庭 球	0	5	3	0
排 球	1	1	3	5
籠 球	0	0	5	0
バドミントン	3	1	5	1
卓 球	5	3	1	1
ソフトボール	0	0	3	5
計	9	10	20	12

附属図書館へ洋書400冊寄贈

広島県呉市天応町南川一區在住の守内一郎氏から、去る9月4日、教育学部分館に洋書400冊の寄贈を受けた。寄贈者守内一郎氏は富山大学文理学部昭和二十九年度卒業生であるが、元広島大学教授であつて、退職後郷里滑川市の公民館長として社会教育に盡瘁された。父君喜一郎氏の逝去の後一家を挙げて呉市へ転住されるに当り、縁りの地の当大学へ記念として亡父愛蔵の貴重な図書を寄贈された次第である。400冊の内容は、

哲学関係 8冊、心理学関係 39冊、倫理学関係 11冊、教育学関係 145冊、文学関係 33冊、語学関係 122冊、その他 42冊等に大別されるが、大半は英文図書であり、独文図書 140冊も含まれている。これらの図書は1900年から1940年頃ま

での間に刊行されたもので、此の期間の哲学、心理・教育関係の洋書を戦災で失っている教育学部として、蔵書構成に大きな力が加はつたわけである。

部局秋季レクリエーション便り

部局名	実施月日	行先	参加人員
教育学部	9. 22.23	石川県片山津温泉方面	69名
〃	9. 29.30	〃	62
文理学部	10.13.14	〃	45
〃	10.20.21	新潟県妙高高原池の平野尻湖方面	35
薬学部	10.21	石川県山代温泉方面	43
図書館	11. 3	糸魚川市上早川笹倉温泉方面	20
本部	〃	大岩山(滝不動)方面	44
総合	11.11	射水郡小杉町附近新堀川にて鮎釣大会	19

雑報

ヘルン文庫概要

ヘルン文庫設置の事情

ヘルン文庫が設けられましたのは、本学文理学部の前身である富山高等学校の開校直後、大正13年6月10日であります。当時の初代校長南日恒太郎氏は令弟田部隆次氏(女子学習院教授、ヘルンの高弟)より故ラフカディオ・ヘルンの御遺族が故人の蔵書一切を他へ譲渡したい意向を有せられることを聞いて、これを富山高校に譲受きたい熱意を抱かれました。富山高校は富山市東岩瀬町の馬場正治氏母堂はる子夫人の寄附によつて創立せられたものでありますが馬場夫人は南日氏の請いをいれ、ヘルンの蔵書を譲受けてやがて挙行せられた富山高校開校記念式に当り、お祝いとしてこれを寄附されたのであります。次いで、その書庫も夫人の芳志により、ヘルンの趣味にふさわしい数寄屋風の外観を取入れたものが建てられたのであります。

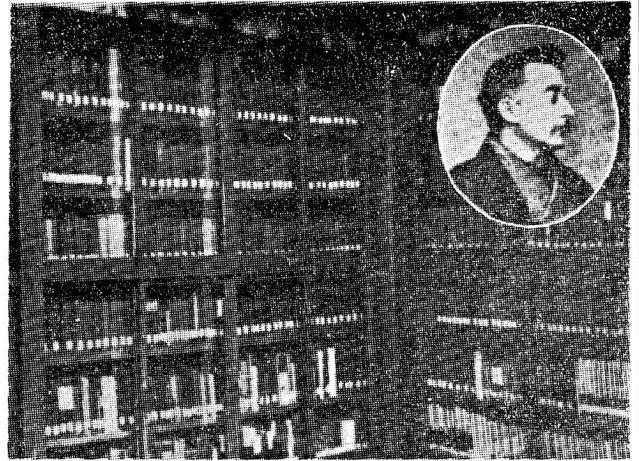
ヘルン文庫の内容

文庫は洋書2,071冊、和漢書364冊及び「神国日本」の手書原稿1,200枚などからなっております。

しかして洋書のうち1,352冊が英語、719冊がフランス語の書物でありまして、これらの大部分はヘルンが日本へ来てから集めたものようではありますが、然し中には彼がアメリカのシンシナチヤニユウ・オルリアンズ滞在中貧しい記者生活のうちから買求めたと思われるものもあります。

文庫のうち英文学に関するものとしましては、アーバーの編纂した英国詩選集10冊、チャイルト教授の英国民謡集四巻、マクミラン社のゴールドン・トレジャリー叢書34冊などがあり、作家別にみますと、上代のビオウルフ以降近代に至る主要文学者の作品があつめられております。特に19世紀の浪漫派の作者以降のものが豊富なようでありま

す。それらのうちでも、ドクキンシーの全集、ピクトリア朝のいわゆる四大詩人の全集、モウリス、メレデスの諸作キプリングの初期カルカツタ本、ブリツヂス、ウオツトソン、イエーツの詩集初版本などは殊に注目の価値があると思います。



(写真 ヘルン文庫、円内ヘルン氏)

またアメリカ文学の方では、哲人エマースンの全集、詩人ブレット、ハート、ロングフェロー、ホイットイヤ、ホイットマン、ポーのものなどが揃っております。

さらにフランス文学に関するものでは、バルザック全集50冊をはじめ、ユーゴー33冊、フローベル、ドーデー11冊、モウパッサン18冊、メリメ6冊、フランス22冊、ロチ28冊、その他ゴーチエ、ボードレル、ミュツセの袖珍詩本、ヴォルテールの全集中7冊、ルメールの19世紀詞華集4冊などがめばしいものでありましよう。この他エスキラス、ユウリピデスのギリシヤ劇、ホーマ、ピンダルの詩、ホレスルクレシウス、オヴィツド、ヴァーシル等は英語訳、フランス語訳ともに備えられております。或はダンテの英訳本ゲーテの英訳ポーンズ叢書本15冊、リヒテルは同じ三冊本ハイネは仏文14冊、メーテルリンクは仏文4冊等があり、またロシアの作家ではゴゴリ、ドストイエフスキー、トルストイ、ツルゲネフ等いづれもフランス語本が備えられております。

このほかにバツクルの英国文明史、フィスクの北米史料史家ミシュレーの全集51冊、英国の史家フルード、ギボングリーン等の諸作、さては古代史料12冊、ヴァインケルマンの古代芸術等あります。

或は美学のアレン、及びスペンサーの全集、心理学のモウレル、リボー、宗教に關係するパリー刊行のエルツエヴィル東方諸国經典集成42冊、マックス・ミューラー教授編の東方聖書24冊、ヴィアナ経三巻の今日としては得難い貴重本も含まれております。

なお自然科学に関しましては、ケンブリツヂ大学刊行の博物叢書8冊のほか、ヘルンが深い関心を払つていたダーウイン、ハックスレー、アレン等の進化論者達や、昆虫のフアブルの書籍なども見出されて、ヘルンの読書範囲の広

さを物語っております。

日本関係のものについて言いますと、家康に仕えた三浦按針の滞日書簡集、アストンの英訳日本記、日本文学史、日本文典、チェンバレン教授の古事記その他の英訳書や、日本国語文典、柳亭種彦の仏語訳、デイキンズの忠臣蔵訳グリフィスの皇国日本、パチエラーのアイヌ研究、ラインの日本史3冊、英訳源氏物語等があります。

和漢書は夫人の説明をとおして、ヘルンの文学的創作品の資料となつたものでありまして、馬琴、一九、京伝の怪談物をはじめ、大半は木版刷の和本であります。

ここにヘルンがその子息に英語を教えるために用いたと思われるボードキン読本5冊、マクミラン社新文学読本など振仮名の書入れのある書物はヘルンを偲ぶよすがとして感慨の深いものがあります。

職員消息

死 亡

部局	職名	氏 名	月日
教	教 諭	青山ヒサエ	9. 3
〃	作業員	高安梅太郎	11.10

改 姓

部局	職名	姓 名	新 姓 名	月日
教	雇	大島スミ子	田島スミ子	4.25
〃	〃	中山すゑ子	松村すゑ子	6.12
文	〃	永田 洋子	氏 洋子	7.18
教	助手	勝島 房枝	志南 房枝	11.9

住所変更

部局	職名	氏 名
文	雇	清水タカ子
本	〃	安間 基
文	警務員	宮武 栄吉
教	講 師	金子 基之
〃	雇	大島スミ子
経	助 手	山本 英治
教	雇	松村すゑ子
〃	タイピスト	渡辺登美枝
文	雇	氏 洋子
業	実験実習指導員	岩城利一郎
文	助教授	久保 和美
本	厚生課長	若林 俊吉
文	講 師	松沢 芳郎
経	教 授	野崎 富作
文	文部事務官	塩谷 孝雄
経	助 手	横山 静祺

青山ヒサエ氏
高安梅太郎氏

教育学部附属幼稚園教諭文部教官青山ヒサエ氏は、9月3日自宅にて逝去された。

教育部部作業員高安梅太郎氏は、11月10日加療在院中逝去された。

ここに哀悼の意を表します。

日 誌

- 9. 5 昭和31年度日本育英会奨学生新採用1年生の奨学生手帖交付
- 9.10 本部会計事務監査 職業補導担当者会
- 9.12 工学部会計事務監査
- 9.15 科学教育研究室研究生打合会
- 9.19 教育学部会計事務監査
- 9.24 事務協議会
- 24 } 薬学部物品検閲
- 25 }
- 9.27 } 文理学部物品検閲
- 28 }
- 9.29 補導協議会
- 10. 3 経済学部、図書館物品検閲
- 10. 6 文化部会
- 9 } 学内給与監査
- 12 }
- 10.12 } 北陸東海地区別共済組合打合会
- 13 } (於教育学部)
- 10.13 富山大学レクリエーション委員会
- 10.15 評 議 会
- 20 } 北信越学生新聞連名総会 (於文理学部)
- 21 }
- 27 } 第5回学部對抗競技大会 (於教育学部)
- 28 }
- 10.29 事業主懇談会 (於県庁特別室 主催県就職対策本部)
- 30 } 第11回東海北陸地区国立大学厚生補導部課長
- 31 } 会 (於本部)
- 7 } 文部大臣委嘱富山大学単位修得試験
- 10 }
- 11.13 一般教育委員会
- 11.11 } 本省中西研究助成課長来学
- 12 }
- 11.16 評 議 会
- 11.19 事務協議会
- 23 } 第6回北陸3県大学学生交歓芸術祭に参加
- 25 } (於福井大学)
- 11.24 永年勤続職員感謝状贈呈式
- 11.26 補導協議会 授業料減免選考委員会
- 11.27 事務協議会